

《特別展》生誕130年記念

内田百閒

— 古里岡山を訪ねて —

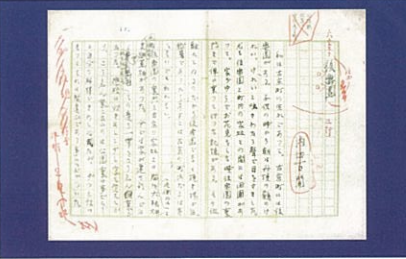
2019年2月10日(日) ↓ 6月2日(日)

《展示期間》前期



書き潰し原稿（個人蔵）
百閒が、岡山中学時代の恩師・木畑先生に贈った漱石『道草』の書きつづし原稿

《展示期間》4期



直筆原稿「古里を思う 後楽園」（文化財団所蔵）

《展示期間》通期



百閒全著作本

■会期（展示一部入替制）

《前期2/10》>>>4/7

- 1期…2月10日(日)～2月24日(日)
- 2期…2月26日(火)～3月10日(日)
- 3期…3月12日(火)～3月24日(日)
- 4期…3月26日(火)～4月7日(日)

《後期4/9》>>>6/2

- 5期…4月9日(火)～4月21日(日)
- 6期…4月23日(火)～5月6日(月)
- 7期…5月8日(水)～5月19日(日)
- 8期…5月21日(火)～6月2日(日)

展示の詳細は吉備路文学館HPにて確認下さい。
都合により展示内容が変わる場合があります。

鉄道模型運転会

開催日 2月10日(日) 3月17日(日)
4月7日(日) 4月20日(土)
5月26日(日)

時間 10:00～16:00

会場 吉備路文学館 1階

*入館料で見学いただけます。



私は古京町の生れであって、古京町には後楽園がある。
子供の時から朝は丹頂の鶴のきれい、きれいと鳴きわたる声で目をさました。

「古里を思う 後楽園」

岡山出身の文筆家、内田百閒の生誕130年を記念して内田百閒の遺品を所蔵している岡山県郷土文化財団との共催で特別展を開催します。

内田百閒(1889～1971)は、後楽園に近い岡山市中区古京町に造り酒屋の一人息子として生れ、少年期を岡山で過ごしました。東京帝国大学在学中には、夏目漱石の門下生となります。

ドイツ語教師となった後も文学者への志を持ち続け、大正11年、創作集『冥途』を刊行。幻想的な小説のほか、身近の出来事を百閒独自の視点で描いた随筆は一世を風靡します。戦後は「阿房列車」「ノラヤ」などのほか、古里岡山を描いた作品を数多く残しています。百閒を育てた古里とは何だったか、改めてふりかえります。

■関連イベント

記念講演会

2月10日(日)13:30～15:00 当館2階北泉ホール
演題：《百閒文学について》
講師：綾目広治(ノートルダム清心女子大学文学部長)

4月7日(日)13:30～15:00 当館2階北泉ホール
演題：《内田百閒の宝もの一遺品にみる人となり》
講師：万城あき(岡山県郷土文化財団主任研究員)

朗読会

3月17日(日)13:30～15:00 当館2階北泉ホール
朗読作品：《百閒作品「漱石先生の書き潰し原稿」
第十二回百閒文学賞最優秀作品「漱石の忘れもん」》
朗読：朗読グループ四照花(やまぼうし)

5月26日(日)13:30～15:00 当館2階北泉ホール
朗読作品：《百閒作品「摩阿陀会」ほか》
朗読：朗読グループ四照花(やまぼうし)
解説：万城あき(岡山県郷土文化財団主任研究員)

琴コンサート

4月20日(土)13:30～15:00 当館2階北泉ホール
第1部曲目：残月、六段
第2部曲目：都踊、春の曲、日本のわらべうた、古都絢爛
演奏：箏曲アカデミー岡山
解説：万城あき(岡山県郷土文化財団主任研究員)

■申込方法：上記関連イベントは電話(086-223-7411)にてお受けいたします。
入館料でご参加いただけます。
*なるべく公共交通機関をご利用ください。

第十四回 岡山県「内田百閒文学賞」表彰式並びに座談会

3月19日(火)14:00～ 表彰式・座談会 岡山県立美術館ホール
出席：小川洋子(作家) 平松洋子(作家) 松浦寿輝(作家)
(定員200名/要事前申込/聴講無料)
問い合わせ先：岡山県郷土文化財団(電話086-233-2505)